

活用方針



VLP取組概要

日

適

■ VLP活用のねらい

- 適** ▶ 教育支援室の職員や子ども同士でコミュニケーションを図り、社会とのつながりを実感できる居場所の一つとなることを目指す。
- 日** ▶ 日常生活における日本語に不安を抱える外国人児童・生徒への日本語指導のフォローアップを行う。

■ 対象生徒・児童

- ▶ 学校に行きづらい区立小・中学生全員
 - 適** ⇒ 教育支援室に通う児童・生徒
 - 適** ⇒ SSWが関わる児童・生徒
 - 適** ⇒ 不登校対応巡回教員が巡回している中学校の校内別室に通っている児童・生徒
 - 日** ⇒ 教育支援室に通う日本語に不安を抱える児童・生徒
 - 適** ⇒ 家から出ることが難しい児童・生徒

■ 運営時間

- 適** ▶ 月～金 9：00～ 9：30
11：55～12：10
15：10～15：25（水曜日を除く）
※教育支援室職員が対応する時間
※8時～18時も都の支援員で対応

■ 活用方法

- 適** ▶ チャットやアクション機能を活用したコミュニケーションを通しての人間関係づくり。
- 適** ▶ 心理士とVLPの面談の実施。
- 適** ▶ 放課後（木曜15:30～）オンライン部活動の実施。
- 適** ▶ ホワイトボードでイラストを使ったコミュニケーションの実施。
- 適** ▶ イベントを通じた他者との協力や競争機会の創出。

活動・取組み内容



活動・取組み内容

【前期】

- ・教育支援室の職員への研修。
- ・区内の希望する児童・生徒への説明、アカウント配布。
- ・不登校対応巡回教員への研修。
- ・生活指導主任への説明会、研修。
- ・児童・生徒向けの体験会実施。
- ・教育支援室に通室が難しい日の、VLP上での職員との関わり、コミュニケーション。

【後期】

- ・毎週木曜日にオンライン部活動「プログラミング部」を、VLP空間内のみんなでプログラミングを活用して実施。
- ・通室生と心理士とのVLP上での面談の実施。
- ・中学校の不登校対応巡回教員と連携した、通室生以外へのVLP上での支援の実施。
- ・階段ゲームイベントを実施。一定の期間を設け、成績をランキング形式で発表。
- ・クイズをVLP空間内に張り出す形でクイズイベントを実施。

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ コミュニケーション方法の新たな選択肢となった。
- ✓ 通室できない日や長期休業中も支援員と交流をもつことができ、生活リズムや学習習慣を身に付けるために、効果的だった。
- ✓ 通室が安定しなかった子どもがVLP上で支援員とコミュニケーションをとることで、教育支援室に対して安心感をもつことができ、その後安定した通室につながった。
- ✓ 外部からVLPを利用していた子どもが教育支援室につながるためのきっかけになった。
- ✓ VLP上で関わりを持った子どもたち同士が教育支援室内でも交流を持つようになった。

次年度以降の方針

- ✓ 区内でどこともつながっていない児童・生徒を0にするために、選択肢の一つとして内容を充実させていく。
- ✓ 参加児童・生徒の目的・目標を設定する。そのために、入室時間や入室して行うことを本人と相談しながら決めていくなど、主体的に子どもが活用できるような支援を行っていく。
- ✓ クイズ大会などの成果を生かして、様々なオンラインでのイベントを行っていく。
- ✓ VLPの利用が途切れた子どもの現状確認と利用の再開を促す声掛けを行っていく。

利用者の声



- 教育支援室の先生に直接メッセージを伝えることができ便利だった。
- タブレットを通して手軽にアクセスでき、操作方法も直観的でわかりやすかった。
- VLP内で他の通室生と遊ぶことができ楽しかった。
- 画面がかたまったり、意図せずオブジェクトに触ってしまうなど、操作していてストレスを感じる箇所があった。



- VLPの効果的な活用について、様々な自治体と交流する機会が多く設定されいて参考になった。今後も、一緒に、様々な可能性を探りながら、来年度はさらに発展させていきたい。（指導主事）
- VLPを通じて休みがちな児童・生徒にも働きかけることができ、信頼関係を構築するための機会を得ることができた。今後も支援を充実させていきたい。（教育支援室職員）

保護者への周知用資料

令和7年4月10日
 教育支援室通生生の保護者様
 中野区立教育センター
 教育支援室

令和7年度 パーチャル・ラーニング・プラットフォームの利用について

- (1) 目的
 教育センター教育支援室（FSR）に運営している児童・生徒が、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）を利用し、FSRの職員とコミュニケーションを図り、社会とのつながりを実感できる居場所の一つとなることを目指します。
- (2) 開催時間
 平日 午前 9:00～9:30
 午前 11:55～12:10
 午後 15:10～15:25（水曜日を除く）
 ※開催時間については、参加児童・生徒の状況によって変更する可能性があります。
- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 9:00～9:30 | VLP上で「朝の準備と計画」※支援員とのコミュニケーションがメイン |
| 9:30～11:55 | 各自が自宅で計画に沿った活動※VLPはつながりません |
| 11:55～12:10 | VLP上で「午後の振り返り」 |
| 15:10～15:25 | VLP上で「午後の振り返り」 |
- (3) 活動内容
 ○支援員との遊戯やコミュニケーションを通した人間関係づくり
 ○支援員とのコミュニケーションを通した生活学習や学習習慣づくり
 ○参加児童・生徒同士のコミュニケーションを通した人間関係づくり
- (4) 出席について
 ○VLPで参加した日は、FSRでは出席とし、学校にはVLPで参加したことを伝えます。
 ○3回の開催時間すべてに参加しなくても、いずれか1回でも参加し、支援員とコミュニケーションをとることができた場合はFSRの出席とします。
 ○VLPでFSRに参加したことは、学校の出席と認めるが各校の判断になります。

中野区バーチャル・ラーニング・プラットフォーム利用に関する確認書

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（以下、VLP）は、学校に通いづらかったり家から外出ることが難しかったりする児童・生徒が、教育支援室の職員やスクールソーシャルワーカー、学校の小中学校対応部教員等の教職員とコミュニケーションを図ることで、社会とのつながりを実感する居場所の一つとなることを目指しています。VLPを利用するにあたり、次の内容についてご確認ください。

- VLPは、「支援員との遊戯やコミュニケーションを通した人間関係づくり」や「参加児童・生徒同士のコミュニケーションを通した人間関係づくり」がメインの場です。最終的には、社会的自立に向けたリアルな空間での関わりや学習につながることを目指します。
- VLPでは、3Dメタバース空間上で、自分の好きなアバターを選び、メッセージやボイスチャット、様々なアクションでコミュニケーションをとることができます。
- 学習ドリル教材、様々な教材等、プログラミング教材等の学習コンテンツを行うことができますが、教育支援室や学校等と同様の教材指導や補習指導はできません。
- 単にVLPを利用したことで出席扱いにはなりません。利用日中の学習内容や入室時間等によって、学校が判断します。
- VLP内のメッセージや活動についてはログが残り、ログは運営会社とあわせて中野区教育委員会や教育支援室、在籍校に提供されます。
- 利用に大きな課題が見られた場合は、利用の制限をさせていただきます。
- 家庭からVLPに入室する際は、保護者の管理の下、入室するようにしてください。

中野区立教育センター 所長 様

私は、令和7年度 中野区バーチャル・ラーニング・プラットフォームを利用するにあたり、教育支援室から上記内容について説明を受け、確認しました。
 なお、上記の(1)から(7)の内容については子ども本人も理解しています。

令和 年 月 日
 児童・生徒氏名 _____
 保護者氏名 _____
 (保護者による自署をお願いします)



どんなことができるの？
 オンライン授業に参加したり、自主学習ができます。また、コミュニケーションの学習を好きなタイミングで進め、会話ができます。

どんな空間があるの？
 3Dメタバースの空間です。教室スペースや学習スペース、相談スペース等、学習目的にあわせてご利用いただけます。

よくある質問

- 不登校の子が参加するの？**
 学校に通いづらかったり、通いづらい子どもを対象としています。様々な課題の子どもを対象とする居場所の空間です。メールでの申し込みが可能です。
- 勉強はできるの？**
 様々な学習コンテンツが用意されています。質疑応答、VLP内での学習も可能です。
- 自宅から参加するには？**
 子どものパソコンは保護者から管理する必要があります。ネット環境も安定している必要があります。
- 管理方法が心配...**
 オンライン授業と同様に、トラブルは発生しないように、また、教育委員会からの指導も受けられます。心配な点は、お問い合わせください。
- 操作方法が困ったときは？**
 分かりやすいマニュアルを閲覧することができます。その際、お問い合わせ先も記載しています。
- 勉強はできるの？**
 様々な学習コンテンツが用意されています。質疑応答、VLP内での学習も可能です。

[印字] 中野区立教育センター 教育支援室バーチャル・ラーニング部 電話:03-5937-3066

東京都VLPアカウント

URL:

メールアドレス: _____

パスワード: _____

開催時間

9:00～9:30	VLPで「朝の会」「朝の準備と計画」※支援員とのコミュニケーションをメイン
9:30～11:55	各自が自宅で計画に沿った活動※VLPはつながりません
11:55～12:10	VLPで「午後の振り返り」※午後の活動の準備と計画
15:10～15:25	VLPで「午後の振り返り」

デキタス

URL:

アカウント名: _____

パスワード: _____

みんなでプログラミング

URL:

ログインID: _____

パスワード: _____

VLP関連のイベント・取組

プログラミングを学んでみたい！オンラインで部活動に参加したい！そんな人は・・・

VLPプログラミング部 **入部随時受付中**
 ※申込不要

活動日：毎週木曜日15:30～16:00
 活動場所：VLP教室「ナカノのモリ」

参加希望者は、いつでもVLPに入って、参加可能です。

VLPプログラミング部とは？

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）の中で「みんなでプログラミング」や「Scratch」を使ってプログラミングを学んでいく部活動です。VLPのアカウントを持っている人は、いつでも、どこからでも参加可能なオンライン部活動です。毎回参加しても、予定が合った日だけの参加もOK！入部の手続も不要！初心者も、上級者も参加可能！です。興味のある人は、ぜひご参加ください。

プログラミングを学ぼう (初心者向け) ブロックを組み合わせてアバターを動かして問題のクリアを目指します。操作が簡単で何層でもやり進めるため、初心者でも楽しく取り組むことができます。	プログラミングで遊ぼう (初心者向け) 部活のためにアバターと友達に合わせてストーリーを動かすプログラムを組み立てる等、より現実的な場面を想定したプログラミングに取り組むことができます。	プログラミングで探検しよう (中級者向け) チャットボットを組み立てる等、アプリケーションを実際で作成するプログラムを組み立てます。グループで協力して取り組むこともできます。	プログラミングで表現しよう (中級者向け) Scratch) を使用して、これまで学んだプログラミングの知識を自由にプログラムを作ります。どんな作品が出来上がるのか楽しみです。

VLPかいだんゲーム大会

ゴールをめざしてのぼうろ！
 さいごまでのぼれるかな？
 いちばんはやく、いちばんたかくのぼるのはだれかな？

みんなのチャレンジをまってるよ！

いつ？
 11月25日（火）～28日（金）
 しんいんさんかFSRの先生に、「さいだんゲームにさんかします！」と声をかけてね。

ルール
 みんなでたのしく！
 ちかみちはだめ
 ぜんぶのだんをふんでね

クイズ大会の開催

ひがさ たぬき
日傘をさした狸が、お店で店員さんに、こう言いました。

ひかなくたたひい

さて、何をかうのでしょうか？